取扱説明書 ―― 保管用

yamada

屋内用・埋め込み灯

（天井・壁埋め込み兼用型）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
　　一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕　様

品　名	適合ランプ
DD−2803	PowerLED6　100V4．8W　×1
DE−2804	E11　JDR110V50Wまで（K5）×1
DH−2805	E26　CDM−R35W　PAR20　×1
DE−2806	E11　JDR110V65Wまで（K5）×1
DE−2808	E11　JDR110V50Wまで（K5）×2

100-242V対応

この取扱説明書のマークについて

⚠警告　説明書中の「警告」は人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は器具破損の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は特に注意してください。
⃠　このマークのついている説明文は必ず守ってください。

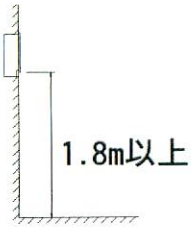
施工上の注意

⚠警告

❗ 施工は、取り扱い説明書にしたがい確実に行ってください。
★施工に不備があると落下や火災、感電事故の原因となります。

⃠ 天井・壁埋め込み兼用器具です。天井、壁以外の場所には施工しないでください。
★指定以外の場所に取り付けると、異常加熱による熱損事故の原因となります。

❗ DH-2805・DE-2806を壁面に取付ける場合は、器具下面が床面より１．８m以上となる様に設置してください。
★器具が高温になるため、ふれるとやけどのおそれがあります。



一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★漏電・感電事故の原因となります。

❗ 器具により取り付け方向が指定されています。取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると異常加熱による火災や器具破損、器具落下による「けが」の原因となります。

⃠ 断熱材工法（※ブローイング工法、マット敷き工法）には設置できません。※「取付場所の確認」を参照してください。
★異常加熱による熱損事故の原因となります。

器具の改造や構成部品の変更は絶対しないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

❗ 電源の送り容量は最大１５Ａです。必ず１５Ａ以内で使用してください。
★容量を超えて使用すると異常加熱による火災の原因となります。

❗ 端子に差し込むケーブルの芯線は、真っ直ぐな線を正しく挿入してください。
★曲った芯線や汚れた芯線は、接触不良となり接触抵抗の増加を招いて火災の原因となる場合があります。

⚠注意

❗ ＡＣ１００Ｖ専用です。必ずＡＣ１００Ｖの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、加熱し火災の原因となることがあります。

⃠ ヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

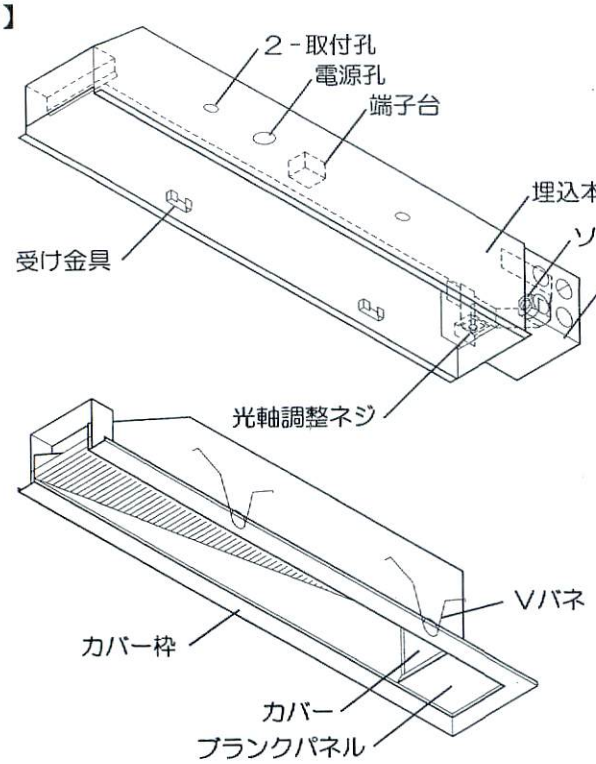
⃠ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くには設置しないでください。
★異常加熱による火災の原因となります。

❗ この器具は周囲温度５℃～３５℃の中で使用してください。
★加熱して、発煙や発火の原因となります。

⃠ 防虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバー落下などの原因となります。

各部の名称
（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明営業所までご連絡ください。）

【器具構成図】



【付属品】

- 取扱説明書（本書）　・・・・・1枚
- 保証とアフターサービスについて　・・・・・1枚
- ランプ（別途）

取り付け場所の確認

⚠警告

施工は、取り扱い説明書にしたがい確実に行ってください。
★施工に不備があると落下や火災、感電事故の原因となります。

天井・壁埋め込み兼用器具です。天井、壁以外の場所には施工しないでください。
★指定以外の場所に取り付けると、異常加熱による熱損事故の原因となります。

一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★漏電・感電事故の原因となります。

取付け可能造営材厚は、5mm～25mmです。それ以外には取付けできません。
★器具落下の原因となります。

DH-2805・DE-2806 を壁埋込の場合は、器具下面が床面より1．8m以上となる様に設置してください。［図1参照］
★器具が高温になるため、ふれるとやけどのおそれがあります。

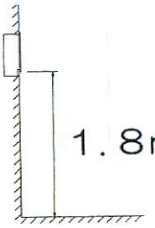
壁埋込の場合、埋め込み深さを13～16cm以上とってください。
（埋込深さ16cm以下の場合、取り付け方が若干変わります）
また、外形寸法より20cm四方に換気を妨げる断熱材や防音材、その他の構造物を設置しないでください。［図2参照］
★異常加熱による熱損事故の原因となります。

天井埋込の場合、断熱材工法（ブローイング工法、マット敷き工法）には設置できません。［図3参照］
★異常加熱による熱損事故の原因となります。

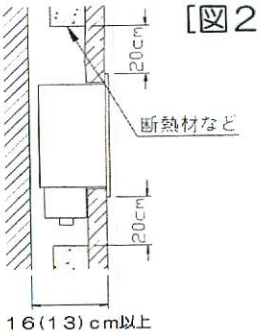
※断熱材、防音材で器具本体の放熱穴を塞がないでください。
※断熱材、防音材の上部は最低20cmの空間が必要です。
※電気配線は断熱、防音材の上側にくるようにしてください。
※器具から断熱材、防音材の間隔を最低10cm以上離してください。

＜壁埋込の場合＞

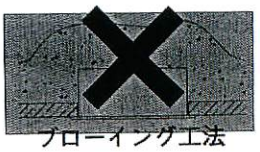
［図1］



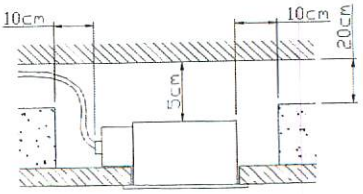
［図2］



＜天井埋込の場合＞
断熱施工不可


ブローイング工法

マット敷き工法

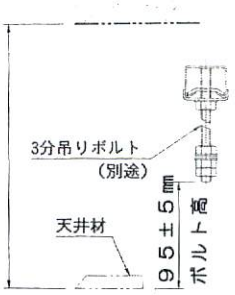


［図3］

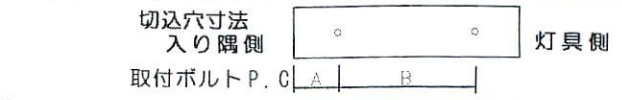
1．取付ボルトはレースウェイ等を使用して必ず垂直（水平）に出してください。

正　誤

3．取付ボルトの長さを調節してください。仕上面からボルトの先端まで 95±5㎜ です。（右表参照）



3．切込穴および取付ボルトP.Cを確認してください。



品名	切込穴寸法	取付ﾎﾞﾙﾄP.C[A×B]	ﾎﾞﾙﾄ高 @
DD-2803	793×107	150/400	95
DE-2804			
DH-2805	1293×107	300/700	95
DE-2806			
DE-2808	1237×107	218.5/800	95

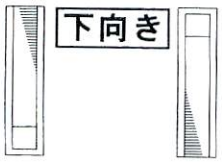
取り付け方　⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

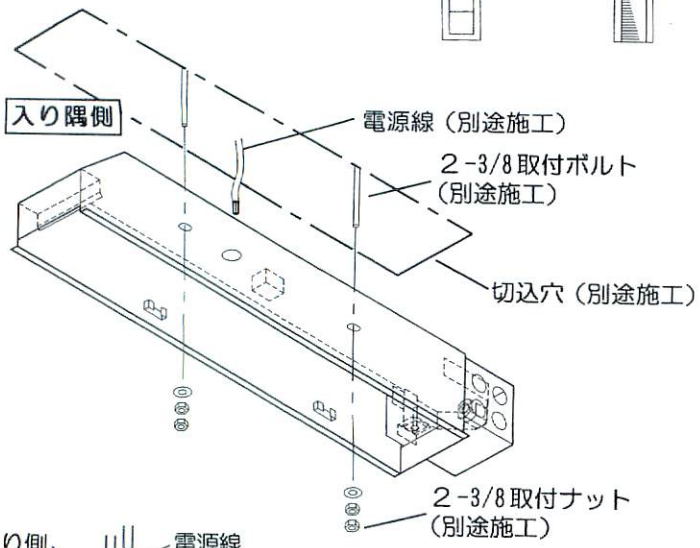
⚠警告❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下や火災、感電事故の原因とります。

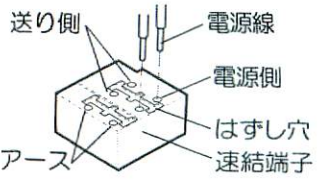
＜取り付ける前に＞

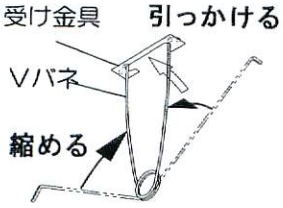
品名	取付方向
DD-2803	天井・壁付上・下向き指定方向なし
DE-2804	天井・壁付上・下向き指定方向なし
DH-2805	天井・壁付上向きのみ
DE-2806	天井・壁付上向きのみ
DE-2808	天井付けのみ

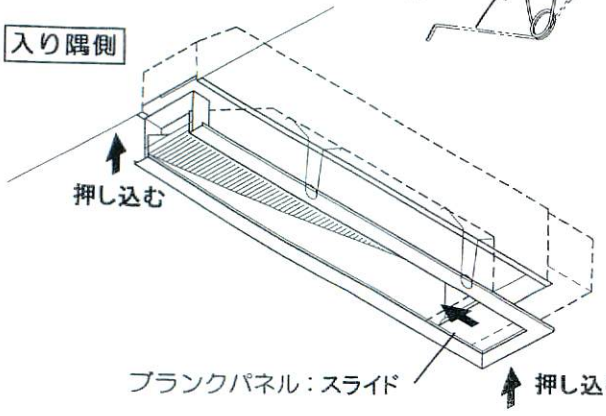
＜壁付の取付方向＞ 上向き　下向き











1．カバーと本体をはずしておきます。

本体を押さえて枠の縁に指をかけ、カバー枠を引き出しVバネをはずします。

［壁面取付の埋込深さを16cm以下しか取れない場合］
灯具カバーを、本体取付板側のダルマ孔に留めているネジ2ヶ所を緩め本体内に引き込んでおいてください。

2．取り付ける面に切込穴をあけます。

⚠警告❗ 壁付の場合、取付方向の指定があります。
取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると異常加熱による火災や器具破損、器具落下による「けが」の原因となります。

＜取り付け＞

1．本体を切込穴にセットします。

本体に電源線を引き込み、切り込み穴にセットします。

2．ボルトで本体を取り付けます。

3．電源線を接続します。

①電源線 を電源線端子に差し込みます。
※電源線をはずす場合は、ドライバーの先ではずし穴をまっすぐ押すとはずれます。
②DH-2805はアース線をアース端子に差し込みます。

⚠警告❗ 端子に差し込むケーブルは、必ずVVFΦ1.6またはΦ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲った芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。

⚠注意❗ 電源の送り容量は最大15Aです。
★容量を超えて使用すると異常加熱による火災の原因となります。

7．ランプをセットします。（DD-2803除く）

※「ランプの交換」を参照してください。

8．カバー枠を閉じます。

Vバネを本体の受け金具に引っ掛けて、カバー枠を押し込みます。
このとき入り隅側の内装仕上げ材に注意してください。

⚠注意⃠ Vバネは相当な強度をもっています。
扱いにはじゅうぶん注意してください。
★Vバネの戻りによる「けが」や器具破損の原因となります。

スイッチ操作　光軸調整

壁スイッチにて「ON－OFF」操作を行います。

ブランクパネルをスライドさせ照射面の光芒を見ながら、器具内の光軸調節ネジをドライバーで調節してください。

お手入れについて　　⚠注意❗　必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

◆お客様へのお願い

●こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃を行ってください。

⚠注意

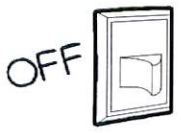
❗ ●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。
★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。　**★感電事故の原因となります。**

🚫 ●ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてけがをする恐れがあります。
❗ ●ランプは器具の使用制限を確認の上使用してください。
★ランプの破裂、発火の原因となります。
🚫 ●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

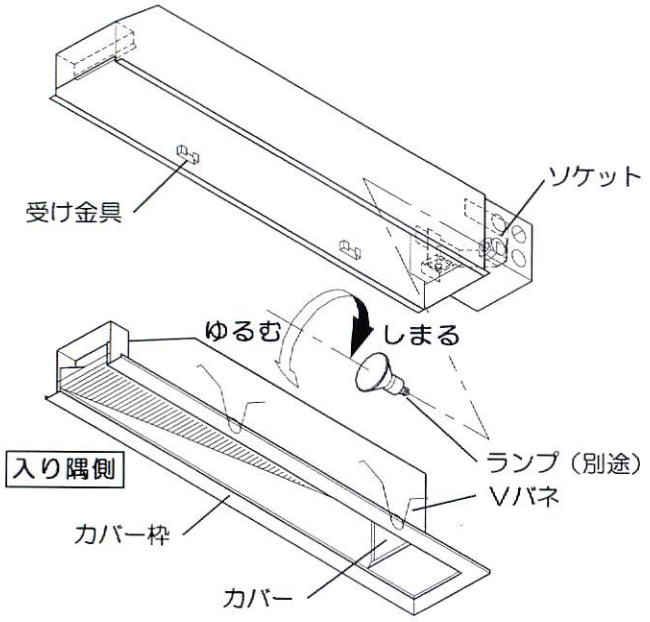
◆ランプの交換（DD-2803除く）

1。電源スイッチを切ります。



2。カバー枠をはずします。

⚠注意❗ カバー枠は必ず『入り隅側』より引き出してください。
★内装仕上げ材へのキズ・破損の原因となります。



3。 ランプをソケットからはずします。

4。 新しいランプをセットします。

⚠注意❗ ランプは器具の適合・使用制限を確認のうえ使用してください。
★ランプの破裂、発火の原因となります。

🚫 ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてけがをする恐れがあります。

5。カバーを閉じます。

Vバネを受け金具に引っ掛けて、枠を押し込みます。

⚠注意❗ Vバネは相当な強度をもっています。
扱いにはじゅうぶん注意してください。
★Vバネの戻りによる「けが」や器具破損の原因となります。

🚫 ヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

◆お手入れのしかた

1. スイッチを切ります。
2. 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明営業所にご相談ください。